

資産運用レポート：記帳の重要性

1 損をしている投資家に限って、記帳ができていない

◆セミナー会場での、意外な調査結果

筆者は、初心者向け株式投資セミナーの講師として、個人投資家の皆さんと接する機会があります。そのとき、本題に入る前に、必ずといっていいほど、参加された方に質問をします。

もう、株式投資を始めている方は、いらっしゃいますか？

すると、意外に多くの手があがります。講師としては「その方が、話を真剣に聞いていただけるので、ありがたい」と思いながら、次の質問に移ります。

投資を始めている方に伺います。現時点で、どれぐらい儲かっているか損しているか、今までどのような売買を行ってきたか、何からの形で記帳していますか？

今度は、数えるほどしか手があがりません。最初、この質問をしたときは「記帳しているのが当たり前」という認識でしたので、正直なところ、驚きました。

◆実績を上げている個人投資家は、記帳ができています

この結果に興味を持った筆者は、きちんとした実績を上げている個人投資家にお会いしたときにも、同じ質問をするようにしています。すると、ほぼ全員から「記帳をしています」という答えが返ってきました。

投資の世界において「勝ち組」と「負け組」を分けているのは、案外「記帳という当たり前のことができているかどうか」なのかもしれません。

◆記帳には、4つのメリットがある

記帳には、計り知れないメリットがあります。その中で、筆者が強調しておきたいのは次の4つです。

- 倹約貯蓄に励むようになる
- 大きな損失を防げる
- 税引後リターンを高められる
- 投資のパフォーマンスを向上できる